



学校だより

(4月号) 令和3年4月8日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》「学校のきまり」を守ろう

やさしい気持ちを大切に

校長 白石 徳一郎

はじめまして。河井 尚校長先生の後任として着任いたしました白石徳一郎と申します。河井校長先生をはじめ、地域の方々、保護者の皆様が築いてこられた新開小学校の伝統を引き継ぎ、ますます子どもたちが輝く新開小学校にしていけるように力を尽くして参りたいと存じます。昨年度は新型コロナウイルスのため多くの教育活動が中止や変更となりました。今年度も「学校の新しい生活様式」(さいたま市教委第6版 R3.3.23)に基づき、感染防止対策を行いながらのスタートとなります。

世界は with コロナ、Society5.0 への移行に向けて大きな変革期の中にあります。さいたま市でもGIGAスクール構想の下、昨年度末に一人一台のタブレットが準備されました。今年度はタブレットを活用した新しい学びがスタートします。本校でも、変化に柔軟に対応しながら、制約のある中で充実した一年になるよう工夫して取り組んで参りますので、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、子どもたちや保護者の皆様におかれましては、ご入学、またご進級、おめでとうございます。新しい教科書、ノート、上履きなどに名前を書きながら、お子様はちょっぴり緊張しながらもこれからの毎日を楽しみにしていることと思います。担任や友達が変わるなど、環境が変わることで子どもたちは新鮮な気持ちをもつ一方、少し疲れることもあるかと思えます。保護者の皆様も4月はお忙しいことと存じますが、ぜひ、ご家庭ではお子様の話を聞いたり、お子様とゆっくりと過ごす時間を大切にしたりしていただけたら幸いです。

私は担任をしていた頃、下級生の児童に優しくする上級生の姿を見ると嬉しくなりました。学級会をしていて、思いやりのある優しい発言をする児童がいると輝いて見えました。また、友達同士のトラブルを穏やかに仲裁できる児童を見て、素晴らしいと感心しました。教育では様々なことを教え、育てようとするけれども、人として最も大切なことは「やさしさ」だろうと思います。「人にやさしく、自然にやさしく」は私が子どもたちに育てたい一番の姿であり、私の教育信条です。

家庭におきかえてみても同様に思います。「ママ、見て!」「見て!ママ」と小さい子が叫んでいます。今、この瞬間をお母さんに見てほしい。それだけです。子どもはお母さんに見てもらい、にっこりしてもらうだけで満足です。大きくなると、少し変わってきます。「見て!ママ」は「ママ、聞いて」になるかもしれません。子どもの話を目を見て聞いてくれるだけで子どもは満足することでしょう。やさしさって何だろうと思うと、相手の気持ちを考えたり、受け入れたりすることが第一歩のような気がします。その他にもいろいろあると思いますが、まずは、子どもの話を聞いていただけたらと存じます。

最後になりますが、地域の皆様には、いつも本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。本年度も、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。